

端末を用いて遠隔地のゲストティーチャーとつなぎ、 対話を通して考えを深める学習

第3学年

私たちの暮らしと経済

こんな子どもたちの姿が生まれました！

- 自ら資料を選択して、仲間の考察を関連付けて自分の考えを説明することができました。
- 単元を貫く問いを意識し、既習内容を関連付けて本時の問いについて考察することができました。

実物と ICT とを組み合わせる学びの多様化を図る

実物を用いて問題意識を高める。

- ・ 2つのレタスを比較し、同じ価格であることについて問題意識を高める。



社会で働く人の話を通じて追究した内容を検証する。

- ・ あらかじめ教師が取材をした人物へのインタビュー動画を視聴することで、仲間と追究したことを検証するとともに、営みに対する人物の願いを感じられるようにする。



教師の指導のポイント

- 生徒の興味の示し方や理解の仕方を想定して、実物と ICT による提示の方法を区別する。
- 提示物と併せて問いを生んだり、視点を定めたりして、生徒が社会的な見方・考え方を働かせられるようにする。

デジタル資料に関連した情報を自ら調べられるようにする



教師が自作した資料から、さらに生徒が主体的に調べられるように関連した内容をリンクさせる。

- ・ 協働学習支援ツールの配付機能で共有した資料に、語句の解説などのページにジャンプするようにリンクを貼り付ける。
- ・ 配付された資料以外にも、自らインターネットで関連した内容を調べられるようにする。



教師の指導のポイント

- 本時のねらいや生徒の発達の段階を考慮して、配付する資料や情報収集の進め方を決定する。
- 生徒が学習課題の解決に向けて、見通しを立て、事実を捉えた上で、理由を明確にして考察するよう促す。

ICT 端末を用いて学びを蓄積する



本時の学習課題に対して、追究して理解したことを ICT 端末の録画機能を用いてアウトプットする。

- ・ 学習課題である同じ商品でも価格が異なる理由について、各自 30 秒で説明し、録画する。
- ・ 録画したものを聞き返して、適切な説明ができているかを振り返る。

教師の指導のポイント

- 多様な表現活動を仕組んで言語能力を育成するとともに、教科の特質に応じて適切な表現方法を選択する。